

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	1-1-3	事業名	区保育・子育て支援センター整備事業				
担当	子ども未来局子育て支援部施設計画担当課 調整担当 笹森 :211-2985						
全体計画							
事業内容	<p>安心して子どもを産み育てられる環境づくりのため、各区に従来の保育所機能に加え、新たに常設の子育てサロンの運営等のさまざまな子育て支援機能を有する区保育・子育て支援センターを順次設置する。</p> <p>平成18年度には3区(豊平区・西区及び手稲区)に、平成19年度には東区に設置したところである。</p> <p>今後については、さっぽろ子ども未来プランの前期計画内である平成21年度に清田区()、さらに平成22年度までもう1か所開設し、合計6か所に設置する。</p> <p>残りの4区については、平成23年度以降できる限り早い時期に開設する(全区に区保育・子育て支援センターを開設する)。</p> <p>市立しんえい幼稚園に(仮称)清田区保育・子育て支援センターを併設した(仮称)市立認定こども園として開設。</p>			<年度別の事業内容>			
				<p>平成19年度: 東区保育・子育て支援センター整備(園庭・外構工事) (仮称)札幌市立認定こども園(=(仮称)清田区保育・子育て支援センター)整備(基本実施設計)</p> <p>平成20年度: (仮称)北区保育・子育て支援センター整備(実施設計、札幌市若草保育園を市営幌北団地移転改築工事に伴い移転改築整備) (仮称)札幌市立認定こども園(=(仮称)清田区保育・子育て支援センター)整備(本体工事及び外構工事)</p> <p>平成21年度: ・(仮称)白石区保育・子育て支援センター整備(札幌市白石保育園を活用、改修)</p>			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	<p>・東区保育・子育て支援センター整備費(園庭・外構工事費)10,769千円 【整備概要】 平成18年度の本体工事(北海道発注工事、道営住宅「光星第一団地」との合築施設である「札幌市新生保育園」を、同住宅の耐震改修に合わせて大規模修繕を行い、区保育・子育て支援センターに転換した)に引き続き、札幌市単独事業として園庭や駐車場等の外構工事を行った。 【施設概要】 名称 札幌市東区保育・子育て支援センター 構造 鉄筋コンクリート造7階建(1階部分) 施設面積 1,114.84㎡ 所在地 札幌市東区北9条東7丁目 事業内容 <保育事業> 定員120名、乳幼児併設(生後57日～就学前)、開所時間:午前7時～午後7時(午後6時～午後7時までは延長保育)、特別保育事業(延長保育、一時保育、産休明け保育、障がい児保育) <子育て支援事業> 子育てサロン、子育て家庭に対する情報、子育て講座、子育て相談、支援ネットワークづくり、個別(困難)ケース支援等</p> <p>・(仮称)市立認定こども園整備費 (=(仮称)清田区保育・子育て支援センターがその一部となるため、同センター整備費が含まれる) 【整備概要】 平成20年度の本体工事に向けて、基本実施設計を行った。</p>			<p>・(仮称)北区保育・子育て支援センター整備費(実施設計費)15,000千円 【整備概要】 北区の市営住宅幌北団地の第二期建替工事に合わせて、当該団地に(仮称)北区保育・子育て支援センターを合築整備する。 平成20年度は実施設計を行う。 ・(仮称)市立認定こども園整備費 (=(仮称)清田区保育・子育て支援センターがその一部となるため、同センター整備費が含まれる) 【整備概要】 本体工事を行う。また、施設の運営に必要な備品等の購入を行う。</p>			
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
区保育・子育て支援センター設置数(累計)		3カ所	4カ所	4カ所	5カ所	6カ所	6カ所
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 本事業は「さっぽろ子ども未来プラン」及び「新まちづくり計画」に位置づけられており、また、広報等を活用し、適宜市民への告知等を実施したことから、市民参加及び適切な情報共有を行ってきたといえる。</p> <p>企業等との連携・協働 建物の設計及び本体工事においては、北海道や受注業者等と緊密に連携し、施設を利用するすべての子ども・保護者等が安全かつ快適に生活し、豊かに育つことができる、利用者ニーズに対応した施設づくりを目指してきた。</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり 本体工事終了後、目立つ位置に看板を新設した。また、ホームページ上における告知や、地下鉄駅掲示板等における施設案内の掲示等、施設を利用したい市民に対する情報提供に努めた。</p>							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	1-1-3	事業名	区保育・子育て支援センター整備事業			
評価(成果)			課題			
<p>既に開設した4区については、開設前よりさまざまな問合せがある等子育て家庭の関心が高く、保育所として定員を超過した入所があるのはもちろん、新規事業であった一時保育や子育て支援事業についても、多数の利用者が訪れている。また、地域の子育てサロンや区健康・子ども課、専門機関等とのネットワークも構築されてきており、一定の成果をあげているといえる。</p> <p>現在(仮称)市立認定こども園として整備中である(仮称)清田区保育・子育て支援センターの整備については、現在のところ予定どおり順調に進んでいる。</p>			<p>区保育・子育て支援センターの整備に際しては、区内の乳幼児施設や区健康・子ども課、児童福祉総合センターなどの連携を容易にするため、区役所との距離あるいは交通の利便性等を考慮したうえで、既存の保育所など公共施設の有効活用を図ることとしている。このことから、市営住宅や学校等の公共施設の活用が可能であるか等、所管する部局との連携を図り、事業の検討を進める必要がある。</p>			
今後の事業の予定・方向						
<p>「さっぽろ子ども未来プラン」の前期計画期間内である平成21年度までに5区(既設の豊平区、西区、手稲区、東区及び清田区(平成21年4月、(仮称)市立認定こども園として開設予定))に設置する。 また、平成22年度までに6区目を整備する予定である。</p>						
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	10,200	6,000	12,800	0	29,000
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0	0	0	0
	市債 その他 一般財源	0 0 10,200	0 0 6,000	0 0 12,800	0 0 0	0 0 29,000
予算	事業費	10,200	15,000	-	-	25,200
	財源内訳					
	国・道支出金	0	5,511			5,511
	市債 その他 一般財源	0 0 10,200	0 0 9,489			0 0 19,689
実績	事業費	10,769	-	-	-	10,769
	財源内訳					
	国・道支出金	0				0
	市債 その他 一般財源	0 0 10,769				0 0 10,769
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				88.9%
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
<p>[19年度] 園庭工事において、地下埋設物が見つかる等不測の事態が発生し、費用が増高したものである。 なお、幸い必要額が既往予算で賄える範囲の額だったことから、当該既往予算の流用にて対応した。</p> <p>[20年度] (仮称)北区保育・子育て支援センター整備費(基本実施設計費)において、予算要求時に見積を詳細に再検討したところ、計画時と比べ+9,000千円となることが判明した。 代わって、国庫交付金を得るための手続を行うこととし、一般財源支出額の増高を抑えるよう努めることとしている。</p>						